

A003	特殊講義 「清水寺の の (良い点)を磨け!、もしくは (困っている点)を救え!」			<p>とともに、実習先の世界遺産におけるルールを順守すること。 また、原則として履修を許可された学生は最後まで受講すること。</p> <p>【京都世界遺産PBL科目内での重複受講】 本科目については、京都世界遺産PBL科目として共通に行われる授業や発表会もあり、科目の性質上、科目群の中での重複受講は困難です。京都世界遺産PBL科目内での重複受講は原則、認められません。</p> <p>【別年度での他クラス受講について】 京都世界遺産PBL科目内でいずれかのクラスを受講していた学生についても、別年度であれば他の未受講クラスの履修は可能です。 なお、その場合においても単位認定などの取り扱いについては各所属大学で異なる場合がありますので履修登録時に教務窓口にご確認ください。</p> <p>【学生保険の加入について】 京都世界遺産PBL科目については、各世界遺産における学外実習を中心とした授業であるため、突発的な事故などに備え、学生保険への加入は必ず行ってください。なお、学生保険への加入については各所属大学へご確認ください。</p>
英名科目名	Proposal for Kiyomizudera temple in terms of the expansion of good points, or the improvement of troubled points			
大学名	立命館大学			
連絡先	【衣笠教学課】TEL：075-465-8310			
担当教員	宗本 晋作、青柳 憲昌			
開講期間	<p>2019年05月12日(日)～2019年12月15日(日)</p> <p>2019年度のスケジュールは以下の通りです(予定)。詳細な内容は、立命館大学シラバスをご確認ください。なお、日時等に変更があった場合は、立命館大学シラバスで周知します。</p> <p>5/12(日) 13:00～16:50 キャンパスプラザ京都 6/9(日) 10:00～13:00 清水寺 6/30(日) 10:50～12:20 清水寺 7/6(日) 13:00～16:10 清水寺 8/18(日) 10:00～13:00 清水寺 9/9(月) 10:00～13:00 清水寺 9/10(火) 10:00～13:00 清水寺 10/6(日) 10:50～12:20 清水寺 10/13(日) 10:50～12:20 清水寺 11/3(日) 10:50～12:20 清水寺 12/8(日) 10:50～12:20 清水寺 12/15(日) 12:30～16:45 キャンパスプラザ京都</p> <p><教室案内> キャンパスプラザ京都、清水寺</p>			
開講形態	通年	開講曜日・講時		
単位数	2	履修年次	1回生以上	
会場	キャンパスプラザ京都、他			
授業定員	20			
単位互換生定員	10	京カレッジ生定員	0	
試験・評価方法	<p>【平常点評価】100%</p> <p>評価は、(1)出席や授業への参加態度、(2)制作コンセプトの独自性、(3)表現の完成度の総合評価とする。</p> <p>(1)として草案批評に対する準備の充実や授業中の積極的な発言等を高く評価する。 (2)として新規性の高い発想等を高く評価する。 (3)として意図したことを的確に伝えるもの、表現が美しいものを高く評価する。</p>			
超過時の選考方法	書類選考			
受講料				
別途負担費用				
その他特記事項	<p>シラバスの内容は本掲載内容から変更になることがありますので、立命館大学HPから最新のシラバスを確認してください。</p> <p>【諸手続】(単位互換生のみ) 受講が許可された場合は下記ホームページで手続の案内をしますので、必ず期間内に手続して、特別聴講生証を受け取ってください。期間内に指定の手続のない方は、試験の受験や通常授業の受講ができませんので注意してください。 <受講手続案内ホームページ> http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/enraku.html</p> <p>【受講時の行動規範】 本科目については、世界遺産所有者のご協力のもと開講されており、受講にあたっては特に担当教員及び世界遺産所有者の指導にもとづき行動する</p>			
パッケージ科目				
低回生受講推奨科目				
講義概要・到達目標				
世界遺産・清水寺を対象に、独自に境内の魅力を再発見しそれを伸ばす、あるいは独自に問題点を発見しその問題解決を図る、いずれにしても独自の視点で新しい課題を見つけそれを解決するPBL型授業を実施する。 清水寺でもまだ気づいていない、時代を超え後世まで維持していくべき良い点は何か?逆にまだ気づいていない困っている点は何か?未来の清水寺のために見つける課題は、良い点でも、困っている点でもよい。清水寺での講話やフィールドワークから良い点または困っているを発見し、良い点なら伸ばし、困っている点なら改善できるように考えてもらいたい。自分で独自に設定した課題を既成概念にとらわれることなく、創造性豊かに解決する提案を求めている。20名の学生を数グループに分け、清水寺で講話を聞き実地調査を行う。グループごとに独自の視点で清水寺の良い点、もしくは困っている点を見つけてもらう。 本共同作業を経て、他大学の学生や専門分野が異なる学生同士が、積極的な交流を図ることも目的の一つとしている。成果物はホームページ等で公開し活用いただくことが期待される。				
【受講生の到達目標】				
建築学の視点から対象の課題を発見し、その課題解決に向けた提案と検証を行う。提案を纏め発表することで、解のない課題と向き合い解決する能力を養うことを目指す。 また他大学、他課題との連携が企図しているように、個人でなくグループでの作業を基本とし、学生同士の積極的な議論により問題解決を図ることが望ましい。				
【授業外学習の指示】				
草案批評では、制作過程において自分たちの考えていることや制作しようとしているものを「他の人に伝える材料」を用意し、他の人と意見を交換しながら再検討することが大切となる。 よって5回の草案批評には、議論のために「他の人に伝える材料」を各自工夫して持ってくるのが必須となり、それらが授業外学習として課される。				
【受講および研究に関するアドバイス】				
担当教員や学生同士大いに議論し合い、制作過程を通して、幅広い交流を楽しみながら作業してもらいたい。成果品を皆で完成させることにより、ものづくりの達成感を共有してもらいたい。				
講義スケジュール				
第1回 5/12(日) 13:00～16:50 キャンパスプラザ京都 全体オリエンテーション(他科目との合同授業) 授業後に次回の概要説明と事務連絡(30分程度)				
第2回～3回 6/9(日) 19:00～13:00(1,2講時) 清水寺 概要説明(森清頭先生の講話)、グループ分け、現地調査の指示				

課題・進行説明、自己PR、グループ分け
(授業外学習)次回までに現地調査
6月16日授業後に実施するのが望ましい

第4回

6/30(日) 10:50~12:20(2講時) 清水寺
清水寺の建築的視点と歴史
(授業外学習)次回までに清水寺の問題発見

第5回~6回

7/6(日) 13:00~16:10(3,4講時) 清水寺 懇親会18:00
@祇園円山 かがり火
各チームによる現地調査計画の発表、フィールドワーク 閉門まで終
日
(授業外学習)次回までに清水寺の課題発見(見直し)

第7回~8回

8/18(日) 10:00~13:00(1,2講時) 清水寺
草案批評1:各チームの発見した課題の発表とフィールドワーク
チームの進捗に合わせてフィールドワークの内容を指示する
(授業外学習)次回までに清水寺の課題発見(練り直し)

第9回

9/9(月) 10:00~13:00(3,4講時) 清水寺
草案批評2:各チームの発見した課題の発表とフィールドワーク
チームの進捗に合わせてフィールドワークの内容を指示する

第10回

9/10(火) 10:00~13:00(3,4講時) 清水寺(森清顕先生参加)
草案批評3:各チームの発見した課題の発表とフィールドワーク
チームの進捗に合わせてフィールドワークの内容を指示する
(授業外学習)次回までに清水寺の課題発見(練り直し)

第11回

10/6(日) 10:50~12:20 清水寺
草案批評4:各チームの発見した課題の発表とフィールドワーク
チームの進捗に合わせてフィールドワークの内容や纏め方を指示す
る
(授業外学習)次回までに清水寺の課題発見(練り直し)とプレゼン
テーションのコンテンツを制作

第12回

10/13(日) 10:50~12:20 清水寺
中間発表(森清顕先生参加)
中間発表、講評等

第13回

11/3(日) 10:50~12:20(2講時) 清水寺
草案批評5:各チームの発見した課題の発表とフィールドワーク
チームの進捗に合わせてフィールドワークの内容や纏め方を指示す
る
(授業外学習)成果発表会に向けてプレゼンテーションのコンテンツ
を制作

第14回

12/8(日) 10:50~12:20 清水寺
成果発表会準備(森清顕先生参加)
発表練習、内容確認
(授業外学習)成果発表会に向けてプレゼンテーションのコンテンツ
を制作

第15回

12/15(日) 12:30~16:45 キャンパスプラザ京都 <打ち上げ>
成果発表会(他科目との合同授業)
成果発表、質疑応答、世界遺産所有者からの感想等

教科書

特になし

参考書

特になし